



ZF Ecofluid XE

項目 1: 化学品及び会社情報

製品識別子

商号

ZF Ecofluid XE

記事-なし

AA02.872.349; AA02.872.397; AA02.913.521

推奨用途及び使用上の制限

製品タイプ

混合物

使用

トランスミッション油

での使用には適していません

該当しない

安全データシートの供給業者の詳細

SDSによって作成された

Global Division B Product Compliance Mgmt. System (BWC)

サプライヤー

ZF Japan Co., Ltd.

アドレス

Teisan Kannai Building
Yamashita-cho 209, Naka-ku
Kanagawa
231-0023 Yokohama
日本

電話

+81 45 211 6895

メール

msds.zf-aftermarket@zf.com

サイト

www.zf.com/contact

連絡窓口

Global Division B Product Compliance Mgmt. System (BWC)



ZF Ecofluid XE

メール

msds.zf-aftermarket@zf.com

緊急連絡電話番号 (受付時間)

+49) 89 19 240; 119

営業時間外利用可能

はい

項目2: 危険有害性の要約

物質または混合物の分類

危険有害性情報

H402

説明

現在入手可能なデータによると、この物質 / 混合物は分類基準を満たしていません。

ラベル要素

危険有害性情報

H402 水生生物に有害

注意書き

P273 環境への放出を避けること。

P501 内容物 / 容器を 認可された治療施設 に廃棄す ること。

さらに詳しい情報

注意喚起語なし。

他の危険有害性

補足的なラベル要素： 皮膚および衣類への接触を避ける。取扱い後はよく洗うこと。

その他の危険有害性： 長期間あるいは繰り返して接触すると、皮膚を乾燥させ、炎症を引き起こすことがある。



ZF Ecofluid XE

項目3: 組成及び成分情報

混合物

化学名	CAS番号	濃度	分類	H-フレーズ 急性Mファクター 慢性Mファクター	特定濃度限界値 急性毒性推定値	注意
石油留分	64742-54-7	46%	-	- - -		化審法 (CSCL): (9)-1692; 安衛法 (ISHL): (9)- 1692; 種類: [OEL] [ISHL-届出]
鉱油	-	0 - 10%	Asp. Tox. 1	H304 - -		化審法 (CSCL): (9)-1692; 安衛法 (ISHL): (9)-1692; 種類: [JIS Z 7253]
五酸化ニリンとアルコール (C14-18偶数) との 反応生成物、アミン (C12-14、tert-アルキル) 塩	-	0 - 3%	Skin Sens. 1B, Aquatic Acute 1, Aquatic Chronic 2	H317, H400, H411 - -		種類: [JIS Z 7253]
ビス (ノニルフェニル) アミン	36878-20-3	0 - 1%	Aquatic Chronic 4	H413 - -		化審法 (CSCL): 3- 138; 3- 301; 安衛法 (ISHL): 3- 138; 3- 301; 種類: [JIS Z 7253]



ZF Ecofluid XE

積に基づいて

石油由来の鉱物油 IP346法によって測定されたDMSO抽出物量が3%未満の鉱物油を含んでいる製品
本製品は合成基油から製造される

種類:

[JIS Z 7253] JIS Z 7253

[OEL] 職場でのばく露限度が適用されます

[ISHL-届出] 名称等を通知すべき危険物及び有害物

物質追加情報

このセクションで報告されているかどうか否かに関わらず、この製品に含まれる成分の総合計濃度は 100% です。

項目4: 応急措置

応急処置の解説

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

皮膚に付着した場合

皮膚を石鹸と水で洗浄するか、または認定された皮膚洗浄剤を使用する。汚染された衣服および靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。

眼に入った場合

すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。



ZF Ecofluid XE

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

吸入した場合

予想される急性健康影響: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状: 特にデータは無い。

皮膚に付着した場合

予想される急性健康影響: 皮膚の脱脂。乾燥肌及び炎症を引き起こすことがある。

過剰にばく露した場合の徴候症状: 刺激; 充血; 乾燥肌; ひびわれ

眼に入った場合

予想される急性健康影響: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状: 特にデータは無い。

飲み込んだ場合

予想される急性健康影響: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状: 特にデータは無い。

何らかの即時の手当および特別な治療が必要とされることの表示

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。

医師に対する特別な注意事項: 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

項目5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

粉末化学消火剤、炭酸ガス、水噴霧、泡消火剤を使用します。

使ってはならない消火剤

ウォータージェットを使用してはならない。

物質または混合物から生じる特別な危険有害性

火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。本製品は水生生物に対して有害である。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。

有害な熱分解生成物: 一酸化炭素; 二酸化炭素; 二酸化珪素; フッ化水素; 窒素酸化物; 磷酸化物; フルオロホスゲン



ZF Ecofluid XE

消防士に対する助言

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

特有の消火方法: 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

項目6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について: 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気の吸入を避けること。適切な個人保護装置を着用する。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。

緊急時対応要員について: 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション 8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染（排水、水路、土壌または大気）を起したときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量に流出した場合: 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。不活性物質で吸い取り、適切な廃棄容器に収容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こすことがある。

大量に流出した場合: 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。放出現場には風上から近づくこと。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。本製品がこぼれたら、砂、土、バーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する。漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こすことがある。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

他のセクションを参照

保護具の選択についての指針は、この製品安全データシート (SDS) の第8項を参照すること。漏洩物質の廃棄に関するガイダンスについては、このSDSの第13項を参照。



ZF Ecofluid XE

項目7: 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

予防取り扱い上の注意

適切な個人保護具を使用すること（セクション8を参照）。摂取してはならない。眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。蒸気や噴霧の吸入を避ける。環境への放出を避けること。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。容器を再利用してはならない。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

一般的な衛生

本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

あらゆる配合禁忌を含む、安全な保管条件

現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質（セクション10を参照）および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

特定の最終用途

データがありません

項目8: ばく露防止及び保護措置

管理濃度

暴露限界

以下のOEL表をご参照ください。

生物学的曝露指数: 曝露指数は不明です。

許容濃度等の勧告鉱物油ミスト: USA: OSHA (PEL) TWA 5 mg/m³, NIOSH (REL) TWA 5 mg/m³, STEL 10 mg/m³, ACGIH (TLV) TWA 5 mg/m³ (基油)

国家職業ばく露限界値



ZF Ecofluid XE

成分	CAS番号 EC号	暴露限度 ppm / mg/m ³	ソース	発言	年
石油留分	- -	- / 3	日本産業衛生学会 (日本, 5/2024) [鉱物油] 発がん性 1. 日本産業衛生学会 (日本, 5/2024) [スス] 発がん性 1. 日本産業衛生学会 (日本, 5/2024) [鉱油ミスト]	OEL-M; 時間: [形: ミスト.]	-

暴露の管理

適切なエンジニアリング管理

全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

個人用保護具の記号



眼、顔面の保護具

リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

手の保護具

リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。防炭化水素手袋、フッ素ゴム、ニトリルゴム手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従うこと。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の使用条件も考慮すること。製品と長い時間接触する場合、ISO 21420及びEN 374規格に準拠した480分間以上保護できる0.38mm以上の保護手袋の着用が推奨される。これらの数値はあくまでも推測値である。保護のレベルは、保護手袋の材質、その技術的要件、取り扱われる化学製品に対する耐性、適切な使用とその交替頻度による。



ZF Ecofluid XE

皮膚及び身体の保護具

長袖の作業服を着用してください。
保護用の靴またはブーツを着用してください。

呼吸用保護具

危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

項目9: 物理的及び化学的性質

基本的な物理学のおよび化学的特性に関する情報

物理的状态

液体 [透明]

色

黄色。

臭い

特異臭。

融点・凝固点

技術的に測定不能

沸点又は初留点及び沸点範囲

>316°C (>600.8°F)

メソッド

EN ISO 3405

可燃性

非引火性。[固体、気体]

爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界

下限: 0.9含有量(%);

上限: 7含有量(%)

引火点

200°C (392°F)

メソッド

開放式: クリーブランドオープンカップ(COC)



ZF Ecofluid XE

自然発火点

>200 °C

メソッド

ASTM E 659

分解温度

データがありません

pH

製品は（水に）不溶性です。;

該当しない

動粘性率

67 to 71 mm²/s [40°C]

メソッド

ISO 3104

溶解度

データがありません

水溶性

不溶;

水混和性: 非該当。

n-オクタノール / 水分配係数 (log値)

該当しない

蒸気圧

<0.01 kPa (<0.075 mm Hg) [室温];

該当しない [50°C]

密度及び / 又は相対密度

0.845 から 0.855 g/cm³ [15°C]

メソッド

ISO 12185

相対密度

0.845 から 0.855

メソッド

ISO 12185

蒸気の相対密度

データがありません



ZF Ecofluid XE

酸化特性

該当しない

粒子特性

該当しない

その他の情報

蒸気密度: >2 [空気 = 1]

項目10: 安定性及び反応性

反応性

この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性

推奨される保管および取扱い条件の下では安定（セクション7を参照）。

危険有害反応可能性

通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件

特にデータは無い。

混触危険物質

強酸化剤

危険有害な分解生成物

通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

項目11: 有害性情報

規毒物学的作用に関する情報

急性毒性

利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

ZF ECOFLUID XE:

急性毒性の推定 [経口 (mg/ kg)]: 213675.2

五酸化ニリンとアルコール (C14-18偶数) との反応生成物、アミン (C12-14、tert-アルキル) 塩:

急性毒性の推定 [経口 (mg/ kg)]: 2500



ZF Ecofluid XE

製品名/物質名 CAS / ECなし	投与記述子	値/用量	暴露経路	曝露期間	試験動物	方法/ガイドライン	備考
石油留分 -	LD50	>5000 mg/kg	経口	-	ラット - オス、 メス	OECD [401 類 推]	-
石油留分 -	LD50	>5000 mg/kg	経皮	-	ウサギ	OECD [402 類 推]	-
石油留分 -	LC50	>5 mg/l	吸入	4 時間 [微塵お よび噴霧]	ラット	OECD [403 類 推]	-
五酸化ニリン とアルコール (C14-18偶数)との反応生 成物、アミン (C12-14、 tert-アルキル) 塩 -	LD50	>2000 mg/kg	経口	-	ラット - メス	OECD [420]	-
ジフェニルア ミンとノネン (分岐鎖) の 反応生成物 -	LD50	>5000 mg/kg	経口	-	ラット - オス、 メス	OECD [Equi- valent or sim- ilar to guideline OECD 401]	毒性影響: 体重 1 kgあたり 5000 mgの単 回投与におい て、死亡は認 められなかつ た。

皮膚腐食性 / 刺激性

利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

呼吸器または皮膚感作性

利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

生殖細胞変異原性

利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

発がん性

利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

生殖毒性

利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。



ZF Ecofluid XE

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

誤えん有害性

利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

物理的、化学的および毒物学的な特性に関連する症状

予想される急性健康影響:

眼に入った場合: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

吸入: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

皮膚に付着した場合: 皮膚の脱脂。乾燥肌及び炎症を引き起こすことがある。

飲み込んだ場合: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状:

眼に入った場合: 特にデータは無い。

吸入特にデータは無い。

皮膚に付着した場合: 刺激; 充血; 乾燥肌; ひびわれ

飲み込んだ場合 吸入特にデータは無い。 特にデータは無い。

遅延及び即時効果だけでなく、短期および長期の暴露による慢性的な影響

短期的にばく露した場合の徴候症状:

潜在的な即時性作用: 情報なし。

予想される遅発性影響: 情報なし。

長期暴露:

潜在的な即時性作用: 情報なし。

予想される遅発性影響: 情報なし。

健康への慢性効果の可能性:

ジフェニルアミンとノネン (分岐鎖) の反応生成物 亜慢性 - ラット - オス、メス - 経口 - LOAEL;
OECD 408; 100 mg/kg

概要: 長期間あるいは繰り返して接触すると、皮膚を乾燥させ、炎症、ひびわれ、及び皮膚炎を引き起こすことがある。

発がん性: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

変異原性: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

生殖毒性: 重大な作用や危険有害性は知られていない。



ZF Ecofluid XE

その他の危険有害性に関する情報

その他の情報

情報なし。

項目12: 環境影響情報

毒性

急性毒性

利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしている。

急性魚毒性

製品名/物質名 CAS / ECなし。	測定タイプ	値/結果	曝露期間	種
鉱油 -	LC50	>100 mg/l	96 時間	魚類 - Pimephales promelas

急性藻類毒性

製品名/物質名 CAS / ECなし。	測定タイプ	値/結果	曝露期間	種	方法/ガイドライン	発言
石油留分 -	LL50	>100 mg/l	72 時間	藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata	OECD [201]	影響: (成長率)
鉱油 -	EC50	>100 mg/l	72 時間	藻類 - Scenedesmus quadricauda	-	-

急性毒性甲殻類

製品名/物質名 CAS / ECなし。	測定タイプ	値/結果	曝露期間	種	方法/ガイドライン	発言
石油留分 -	LL50	>10000 mg/l	48 時間	甲殻類 - Daphnia magna	OECD [202]	影響: 移動性
鉱油 -	EC50	>10000 mg/l	48 時間	ミジンコ類	-	-



ZF Ecofluid XE

慢性毒性

利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしている。

製品名/物質名 CAS / ECなし。	測定タイプ	値/結果	曝露期間	種	方法/ガイドライン	発言
石油留分 -	NOEL	>1000 mg/l	21 日	魚類 - Onco-rhynchus mykiss	-	影響: 死亡率
石油留分 -	NOEL	10 mg/l	21 日	甲殻類 - Daphnia magna	-	影響: 生殖
石油留分 -	NOEL	>100 mg/l	72 時間	藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata	OECD [201]	影響: (成長率)
鉱油 -	NOEC	>10 mg/l	21 日	ミジンコ類	-	-

残留性・分解性

製品名/物質名 CAS / ECなし。	デュレーション	結果	劣化 / 退化	方法/ガイドライン
五酸化ニリンとアルコール (C14-18偶数) との反応生成物、アミン (C12-14、tert-アルキル) 塩 -	28 日	-	24%	OECD [301B]
石油留分 -	-	容易ではない	-	-
鉱油 -	-	容易ではない	-	-
五酸化ニリンとアルコール (C14-18偶数) との反応生成物、アミン (C12-14、tert-アルキル) 塩 -	-	容易ではない	-	-
ジフェニルアミンとノネンとの反応生成物、分岐鎖 -	-	容易ではない	-	-



ZF Ecofluid XE

製品名/物質名 CAS / ECなし。	デュレーション	結果	劣化 / 退化	方法/ガイドライン
石油留分 -	28 日	容易ではない	31%	OECD 301F

生体蓄積性

製品名/物質名 CAS / ECなし。	LOGKOW / LogPow	生物濃縮因数	結果
五酸化ニリンとアルコール (C14-18偶数)との反応生成 物、アミン (C12-14、tert-ア ルキ ル) 塩 -	LogKow: 5.14	-	可能性: 高
ジフェニルアミンとノネンと の反応生成物、分岐鎖 -	-	1010	可能性: 高

土壤中の移動性

モビリティ

土壌/水分配係数(KOC): 情報なし。

土壌中の移動性: 物理的および化学的特徴の考察から、本製品は一般に低い土壌移動性を示す 製品は
不溶 性で水に浮く 蒸発による損失は限定される

PBTおよびvPvB評価の結果

データがありません

内分泌かく乱性

データがありません

その他の副作用

重大な作用や危険有害性は知られていない。

オゾン層への有害性: 該当しない



ZF Ecofluid XE

項目13: 廃棄上の注意

廃棄物処理法

廃棄上の注意

廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液 およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

項目 14: 輸送上の注意

国連番号

規制対象外

品名 (国連輸送名)

ADR / RID / AND正式品名

Not regulated.

IMDGの適切な出荷名

Not regulated.

IATA proper shipping name

Not regulated.

国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

ラベル

規制対象外

ADR / RIDクラス

規制対象外

IMDGクラス

規制対象外

IATAクラス

規制対象外



ZF Ecofluid XE

ADNクラス

規制対象外

容器等級

規制対象外

海洋汚染物質

いいえ

IMDG海洋汚染物質

いいえ

使用者のための特別な予防措置

直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

MARPOL73/78附属書II及び IBCコードによるばら積み輸送される液体物質

情報なし。

項目15: 適用法令

物質または混合物ごとに個別に関連する、安全、健康および環境に関する規則/法律

EU規制

非該当。



ZF Ecofluid XE

国の規制

消防法:

カテゴリー: 第四類

物質名 / 種類: 第四石油類

危険性区分: III

注意喚起語: 火気厳禁

指定数量: 6000 L

消防活動阻害物質: 非該当

労働安全衛生法:

名称等を表示すべき危険物及び有害物:

化学名又は一般名: 鉱油

含有量(%): $\geq 25 - \leq 50$

状況: 該当

整理番号: 2-581

名称等を通知すべき危険物及び有害物:

化学名又は一般名: 鉱油

含有量(%): $\geq 25 - \leq 50$

状況: 該当

整理番号: 2-581

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質 (労働安全衛生規則
第594条の2 第1項): 非該当

化学物質審査規制法: 非該当

毒物及び劇物取締法: 非該当

化学物質排出把握管理促進法: 非該当

日本産業衛生学会 発がん性物質: 第1群

船舶安全法: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

航空法: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

廃棄物管理および公共浄化法: 産業廃棄物



ZF Ecofluid XE

その他の条件、制限および法的規制

国際規制:

化学兵器禁止条約リストスケジュールI、II、IIIの化学物質: 非該当。

モントリオール議定書: 非該当。

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約: 非該当。

事前通報承認制度 (PIC) に関するロッテルダム条約: 非該当。

OPおよび重金属に関するUNECEオルフス (Aarhus) 議定書: 非該当。

インベントリ リスト:

オーストラリア化学物質インベントリー(AIIC) 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

カナダインベントリーDSL (国内物質リスト) に記載されていない成分があるが、NDSL (非国内物質リスト) にはすべての成分が記載されている。

チリの在庫: 未確定。

中国インベントリー (IECSC) (中国既存化学物質インベントリー) すべての構成成分が表示または免除、通知されます。

コロンビアインベントリー(INSQUI) : 未確定。

ヨーロッパインベントリー 日本インベントリ: 日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質) : すべての構成成分が表示または免除、通知されます。 日本インベントリー(ISHL): すべての構成成分が表示または免除、通知されます。

ニュージーランドの化学物質目録 (NZIoC) 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

フィリピンインベントリー (PICCS) (フィリピン化学品および化学物質インベントリー) 記載されていない成分がある。

韓国インベントリー (KECI) (韓国既存化学物質インベントリー) : 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

台湾化学物質清單: すべての構成成分が表示または免除、通知されます。

タイの在庫: 未確定。

トルコのインベントリ: 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

米国インベントリー(TSCA 8b) (有害物質規制法 8b) : 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

ベトナムの在庫: 未確定。

このセクションに記載されている情報は、各国の化学品輸入規制の適合性のみに関連しています。同情報は、本製品の化学品輸入 規制を確認するために使用され、セクション3に示す化学組成を参考にして作成されています。通関業務や国内販売許可などにおいて、他の規制が適用される場合があります。

化学物質安全性評価

データがありません



ZF Ecofluid XE

項目16: その他の情報

フレーズの意味

Asp. Tox. 1 - 誤えん有害性 区分1
Skin Sens. 1B - 皮膚感作性 区分1A
Aquatic Acute 1 - 水生環境有害性 短期（急性）区分1
Aquatic Chronic 2 - 水生環境有害性 長期（慢性）区分2
Aquatic Chronic 4 - 水生環境有害性 長期（慢性）区分4
H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H400 水生生物に非常に強い毒性
H402 水生生物に有害
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性
H413 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

その他

追加情報

注意事項: 我々の知る限りにおいて、ここに記載した情報は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。

製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。